



大牟田市への行政視察

～他都市から注目されている大牟田市の取り組みは？～

毎年、全国各地からたくさんの方が大牟田市の取り組みを参考にしたいということで視察に来られています。

視察される項目で多いのは、地域認知症ケアコミュニティ推進事業、メガソーラー発電、議会改革などです。

他都市の皆さんが関心を寄せているこれらの取り組みの中で、今回は地域認知症ケアコミュニティ推進事業についてご紹介します。



熊本県荒尾市からの行政視察

■地域認知症ケアコミュニティ推進事業

大牟田市では、認知症の人が住み慣れたまちで安心して「その人らしく暮らす」ことができるよう、家族や地域、介護に関わる関係機関と行政が手を携え、地域認知症ケアコミュニティ推進事業として、認知症の人を地域で支えるまちづくりに取り組んでいます。

■具体的な活動

本市の認知症対策は、市医師会等との連携による認知症の早期発見・診断のための取り組みや、認知症コーディネーター



徘徊模擬訓練

という人材育成を核に、徘徊模擬訓練や子どもたちと学ぶ認知症の絵本教室といった地域への理解啓発事業を含めて、総合的に推進をしています。



絵本教室

■活動拠点

交流施設に地域密着型サービスを併設し、市内に22ある小学校区と同数以上の小規模多機能型居宅介護施設と、校区に2カ所以上の交流拠点を整備しています。こうして、認知症の人の初期から最期までの支援を地域ぐるみで行う基盤整備を整えています。

■これからの取り組みと課題

高齢者の方が多い本市では、小学校区という日常生活圏域を単位とした交流拠点からの地域づくりがますます重要となります。これが、本市の認知症地域包括ケアの実現のためには、欠かせないビジョンといえます。

さらに、認知症予防からターミナル（終末期）まで、いつでも、どこでも、誰といても、認知症の人とその家族に対する切れ間ない支援体制を構築する、すなわち状況に応じた適切な支援こそが、これからの大牟田市における明確な課題であり、終わりのないテーマといえるのではないのでしょうか。

他議会からの行政視察（8月～9月）

【8/1】岐阜県羽島市（新大牟田駅周辺整備）【8/3】岡山県市議会議長会（議会運営）、宮崎県宮崎市（エコタウン事業）【8/4】大阪府箕面市（地域認知症ケアコミュニティ推進事業）【8/8】鹿児島県始良市（段ボールコンポスト、徘徊模擬訓練）【8/18】京都府八幡市（議会基本条例）【8/25】奈良県橿原市（老朽危険家屋等除却促進事業）【8/31】京都府宇治市（議会改革、議会運営）【9/29】熊本県荒尾市（議会改革）

編集後記

市内8カ所での議会報告会が終了しました。ご出席ありがとうございました。いただいた貴重な意見を糧としてさらに研鑽を積み、議論を尽くして、もっと住みよいまちにしていかなければなりません。

地方分権時代、地域力が問われています。豊かなまちづくりにつながる地域力、これは議員はもちろんですが、市民の皆様方、お一人お一人にも求められています。

(M)

■編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】平山光子
【委員】大野哲也 北岡あや 森 竜子

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800
FAX 0944-41-2880
E-mail gikajimu01@city.omuta.lg.jp